

★コロナ関連学校方向性ニュース

※5月7日からの学校再開に向けて、先生たちも力を合わせて準備しています。ただ、依然として感染拡大は収まりを見せていない状況で、マスコミの報道を見ると、もしかすると、学校再開が先延ばしになる可能性もあるのかと不安になります。もし予定の変更があった場合、ゴールデンウィーク中であっても、ホームページを更新する可能性もありますので、こまめにご確認ください。

※図書カードのネットギフト配布に伴う家庭訪問に関してですが、対面でお渡しするか、ポストに入れさせていただくかは、各ご家庭で選んでいただいております。対面でのお渡しの場合も、玄関ドアの外で対応します。また、感染防止のために、互いの距離を2メートル以上離れて対応させていただきます。



★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

校長ミッション第4弾

第4弾のミッションを出します。これは自由参加の課題です。

「もし、あなたがスーパーの店長なら、あなたの店で、どんな感染拡大防止対策をとりますか？ 思いつくままに、箇条書きで答えて下さい」

※(例)アルコール消毒の液を置く

- ※
- ※
- ※
- ※
- ※
- ※
- ※
- ※

解答は、8つにとどまらず※を増やして思いつく限り書いてください。

今回のミッションは、あなた一人で考えるのではなく、家族と相談して考えてみましょう。校長ミッション第4弾に関しては、A4 の紙に※を先頭に箇条書きにし、紙の裏に新しい学年・クラス・番号・名前を書いて登校が再開された後に校長室前のボックスまで提出してください。(ミッション1・2に関しては学級担任の先生に提出してください)一枚の紙に兄弟姉妹の連名での提出でも結構です。



★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

アブダビで暮らし始めたときに、街中に不思議な形の建物を多く見かけました。5階から10階建てぐらいの大きさの建物で、上の方は球体で下の方は細くなっています。ちょうどゴルフボールをピンに載せたような形の建物です。現地で暮らす人に聞くと、それは生活用水を貯めておく水タンク(雨水貯蔵ではなく水道水貯蔵のタンクでした)でした。

当時のアラブ首長国連邦(UAE)は年間で10日ほどしか雨が降らず、生活用水の確保のために、そのようなタンクが多く使用されていました。

ところが、私が生活していた3年間で街中の水タンクはどんどん少なくなっていきました。実は UAE では水道代がゼロ円。私がいた20年前は、アラブ人に対しても外国人に対しても、国が水道代を全部払ってくれました。なぜそういうことができるかというと、「海水を真水に変える」大きな工場が稼働しているからでした。工場の機械を動かすのは、UAE の石油です。そして、その「海水を真水に変える」機械を開発したのは日本の企業でした。ここでもジャパンプライドもいべき日本の技術が、世界の人々を救っていたのです。

だから、すべての生活用水を水道から出る水を使えば、水道代は無料です。ただし、我が家も含め多くの日本人の家庭では、お米を研ぐ・料理をする・飲料水などに、現地で売っている「アル・アイン」や「マサフィー」というミネラルウォーターを利用していました。いわゆるアラブのオアシスという土地からとれる地下水です。20年前は、1リットル30円ぐらいで買うことができ、ヨーロッパで売られているエビアンなどの有名なミネラルウォーターに負けないぐらいにおいしい水でした。



